

電車の中でのメイク状況

「女性の化粧行動・意識に関する実態調査～メイク篇 2007～」より

【電車の中でメイクをすることへの抵抗感】

電車の中でのメイクには多くの女性が抵抗感あり
メイク経験のある女性の76%に、電車の中でのメイクは
「とても抵抗感がある」と受けとめられ、「抵抗感がない」人はわずか2%
年代が上がるほど電車内でのメイクへの抵抗感が強くなり
50代以上では「とても抵抗感がある」人は9割以上
一方、20代以下では「とても抵抗感がある」人が6割と、他年代より少ない

【電車の中で実際にメイクをした経験】

実際に電車の中でメイクをしたことがある経験者は19%、未経験者は81%
経験者でも電車の中でのメイクに抵抗感(とても～やや抵抗感)がある人は
8割以上に達する
15～34歳では経験者が約3割以上、20代後半では43%と特に多く
若年層で経験者が多い

【電車の中で使用したことがあるメイクアイテム】

電車の中で使用したメイクアイテムはベースメイクよりポイントメイクアイテム、
アイメイクよりリップメイクで使うアイテム(特に口紅・リップグロス)が多い

【実施概要】

調査名 : 女性の化粧行動・意識に関する実態調査～メイク篇 2007～
調査時期: 2007年8月 調査方法: インターネット調査
調査対象: 首都圏(埼玉県,千葉県,東京都,神奈川県)に居住する15～64歳の女性1500人 ※中学生を除く
(20～24歳、25～29歳、30～34歳、35～39歳、40～44歳、45～49歳、50～54歳、55～59歳、
60～64歳:各150人)
※本報告は、対象者1500人のうち、メイクを行ったことがある1453人を中心に分析

ポーラ文化研究所の調査について

ポーラ文化研究所は1976年の設立以来、美しさに関わる研究、なかでも「化粧文化」について人文・社会学など様々な角度から探究しています。現代女性の生活や化粧に関する意識・行動についての調査研究にも取り組み、調査成果は研究所内のポーラ化粧文化情報センターやホームページなどを通じて公開しています。

2008年 3月3日

ポーラ文化研究所

POLA RESEARCH INSTITUTE OF
BEAUTY & CULTURE

(担当: 鈴木・川上・立川)

■目次■

I	調査概要	2
II	調査結果サマリー	4
	ノーメイクでいることへの抵抗感	5
	人前での行動への抵抗感 ～電車の中でメイクをすることへの抵抗感	6
	電車の中でのメイクをしたことがある人	7
	電車の中で使用したことのあるメイクアイテム	8
III	調査結果【詳細】	9
1	ノーメイクでいることの抵抗感	
	～自身がノーメイクでいることへの抵抗感	10
	～一緒にいる相手別の抵抗感	11
	～シーン別の抵抗感	12
2	人前での行動・電車の中でメイクをすることへの抵抗感	13
3	人前でのメイク経験	
	～場所別 化粧直しを除くメイク	14
	～場所別 化粧直し	15
4	電車の中でのメイク経験	
	～化粧直しを除くメイク	16
	～化粧直し	17
5	電車の中で使用したことのあるメイクアイテム	18
6	電車の中で使用した道具	19

I 調査概要

調査概要

【実施概要】

調査時期：2007年8月

調査方法：インターネット調査

調査対象：首都圏 一都三県（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）に居住する 15～64歳の女性 1500人

※中学生を除く

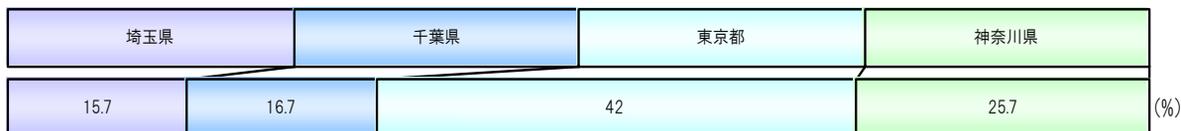
※本レポートは、対象者1500人のうち、メークを行ったことがある1453人（メーク経験者）を中心に分析

【メーク経験者プロフィール】

■年齢



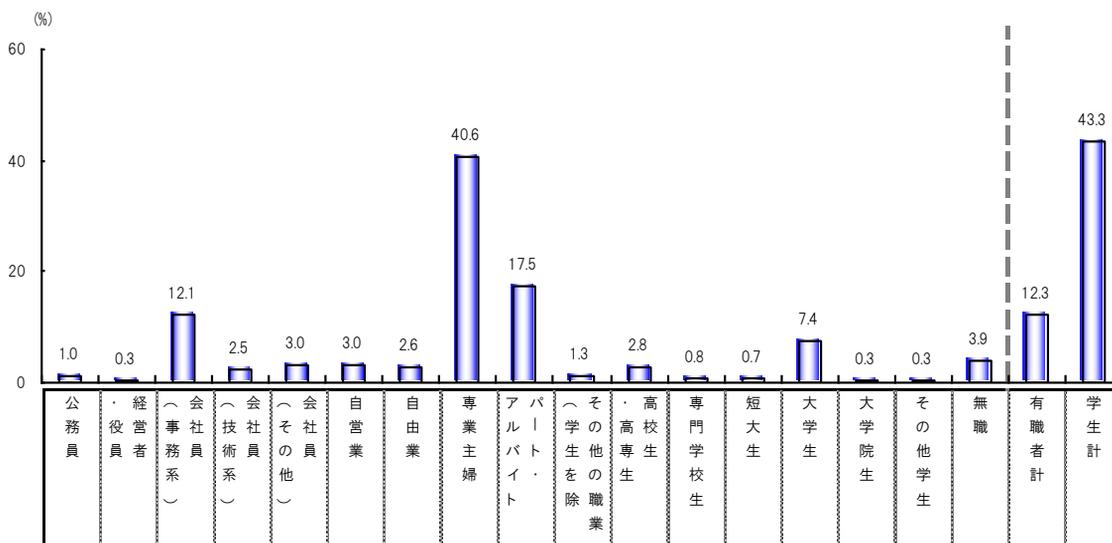
■居住地



■未既婚・職業



■職業



（基数：メーク経験者 1453人）

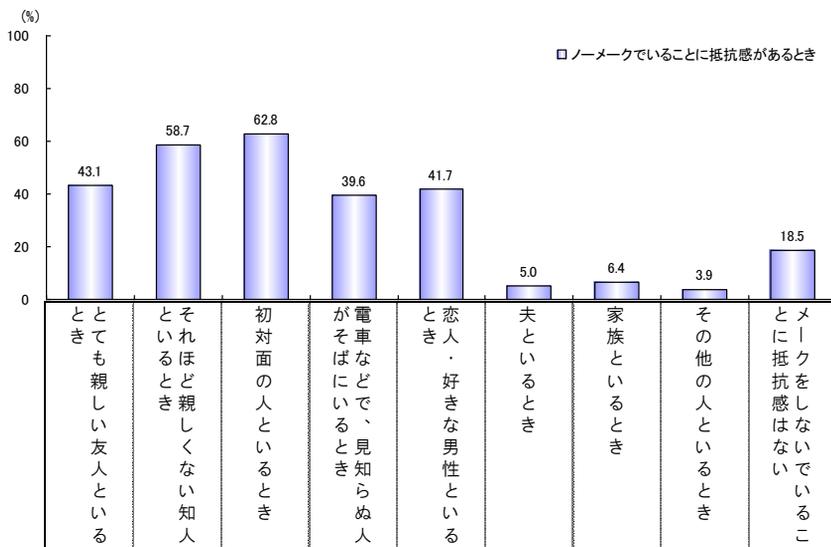
Ⅱ 調査結果サマリー

ノーメイクでいることへの抵抗感

1)ノーメイクでいることへの抵抗感

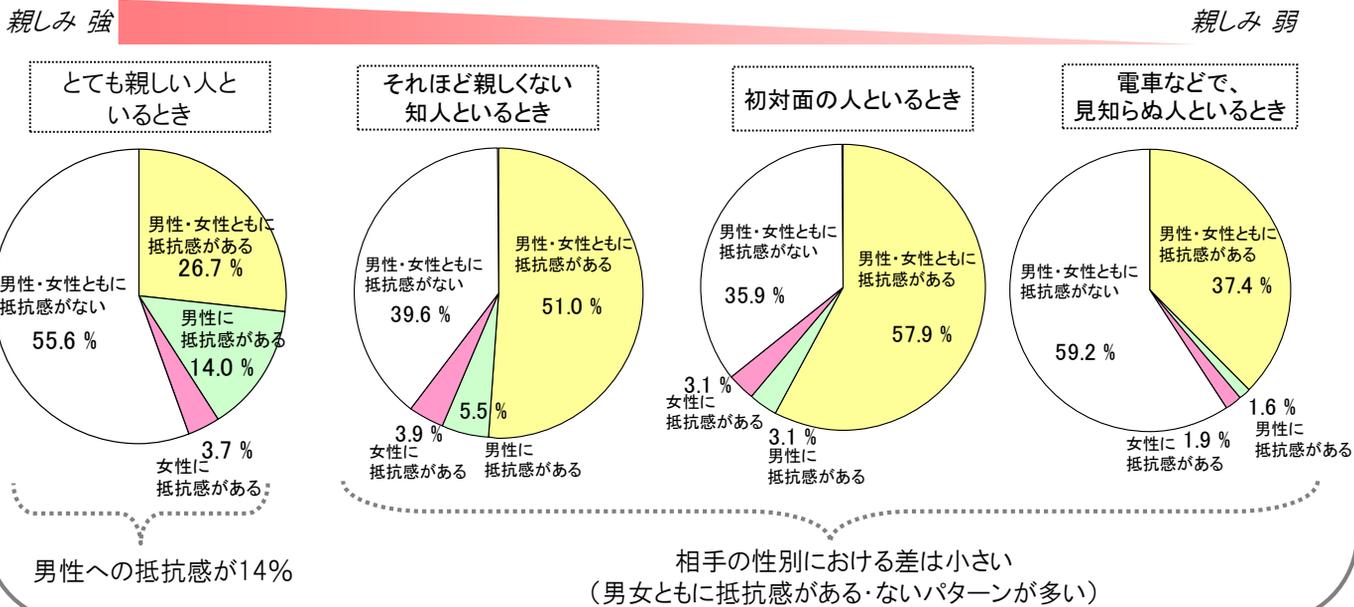
自分自身がノーメイクでいることへの抵抗感の度合いは、そのとき一緒にいる相手によって異なる。相手が「初対面の人」の場合、抵抗感が最も高く、63%。以下、「それほど親しくない知人」59%、「とても親しい友人」43%、「恋人・好きな男性」42%、「電車などでの見知らぬ人」40%が続く。「初対面の人」と「見知らぬ人」はどちらも初めて会う相手といえるが、「初対面の人」は、自分と関係を(今後)もつ対象ととらえ、今後も無関係である「見知らぬ人」とは意識に違いがあると推察される。一方、「夫」や「家族」が相手の場合、ノーメイクでいることへの抵抗感5%程度にとどまり、家庭内ではメイクに執着しない状況がうかがえる。

■ふだんの生活でノーメイクでいることに抵抗感があるとき ※一緒にいる相手別(基数:メイク経験者 1453人)



ノーメイクでいることへの抵抗感を抱くかどうかを、一緒にいる相手の性別でみると、「それほど親しくない知人」「初対面の人」「電車などでの見知らぬ人」では、男女ともに抵抗感がある(またはない)パターンが多数。相手の親しみ度合いが弱い場合は、相手の性別に関わらないメイク・ノーメイクの意識をもつとみられる。一方、「とても親しい友人」である場合、男女ともに抵抗感を抱かない人が過半数のボリュームゾーンであるが、相手が男性であるときに抵抗感を抱く人は14%に達し、メイクすることに男性の視線を意識している女性も一部存在する。

■ふだんの生活でノーメイクでいることへの抵抗感の有無 一緒にいる相手の性別パターン(基数:メイク経験者 1453人)



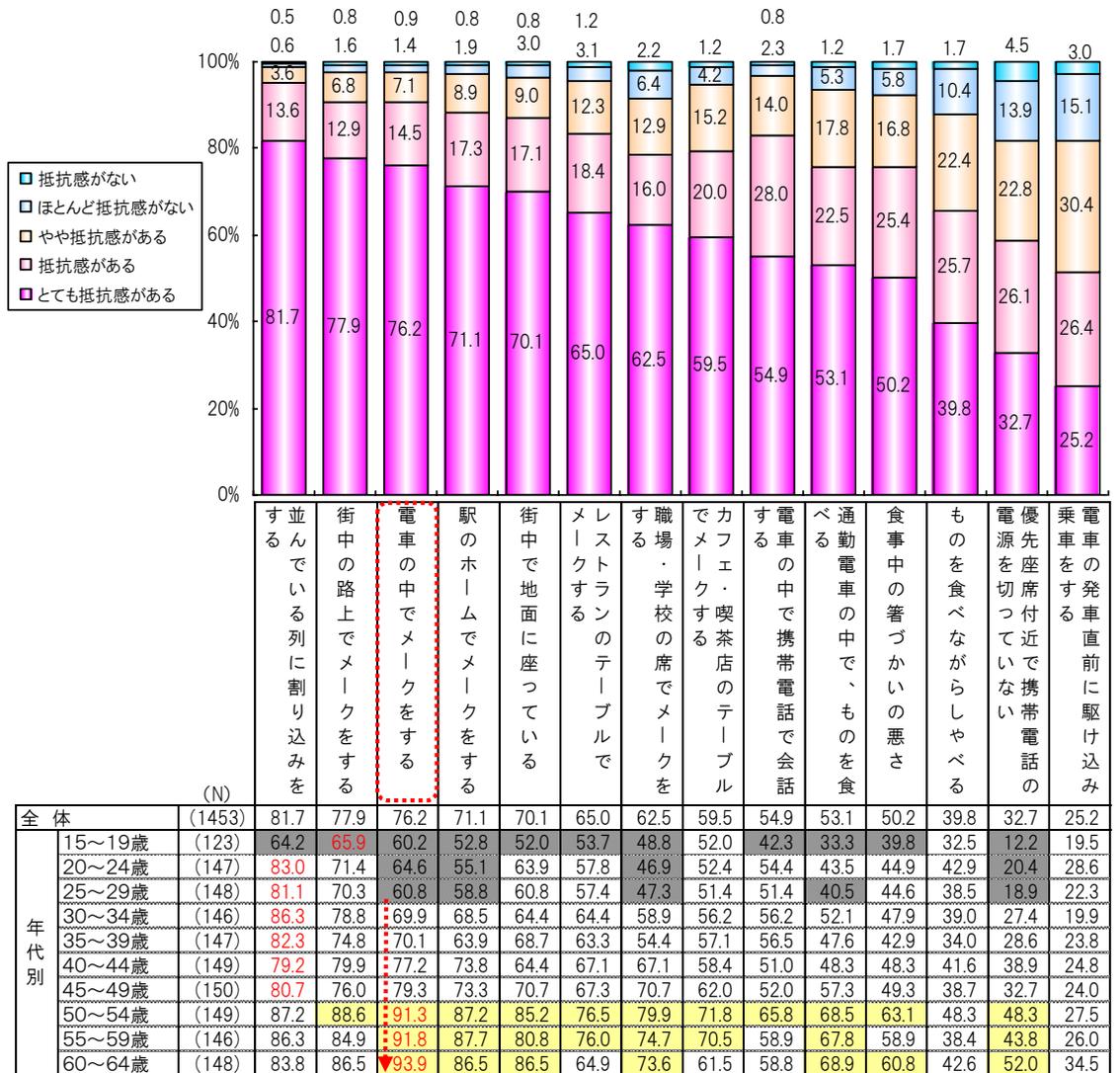
人前での行動への抵抗感 ～電車の中でメークをすることへの抵抗感

2) 人前での行動への抵抗感

人前での14種類の行動についての抵抗感をたずねたところ、とても抵抗感がある行動は「並んでる列に割り込み」(82%)、次いで「路上でメーク」(78%)、「電車の中でメーク」は76%と上位に入る。「電車の中でメーク」は、「優先座席付近で携帯電話の電源を切っていない」「通勤電車の中でもものを食べる」「電車の中で携帯電話で会話する」などより、抵抗感を感じる電車内での行動となっている。

「電車の中でメークをすること」にとても抵抗感がある人を年代別にみると、10～20代では6割程度にとどまるが、30代以上は、年代があがるほど多くなっている。特に、50代以上では9割以上がとても抵抗感があると感じており、20代以下の若年層と50代以上との意識差が大きい行動となっている。

■ 人前での行動への抵抗感(基数:メーク経験者 1453人)



※表中の数値は「とても抵抗がある」のスコア。赤字は各年代における、最も高いスコア

※表の網掛け:全体平均より10%以上高いスコアに薄黄色(■)、10%以上低いスコアに灰色(■)で網かけ

(%)

電車の中でのメークをしたことがある人

3) 電車の中でのメーク状況

電車の中でメークを実際に行ったことがあるかどうかをたずねると、電車の中でメークをしたことがある経験者は19%、「全くしたことがない」人が81%。

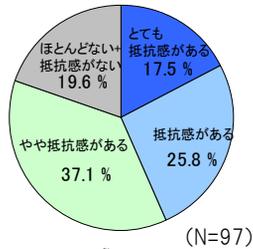
経験者を年代別にみると、30代以下の経験者は2割以上おり、20代後半で特に多く43%。40代以上の経験者は1割以下にとどまっている。日常生活での電車の利用頻度を加味しなければならないが、20代の経験者が他年代と比べ多い状況が確認できる。

電車の中でのメークを行った頻度別に、電車の中でのメークへの抵抗感をみると、電車の中でメークを「全くしたことがない」人では、大半の87%が電車の中でのメークに「とても抵抗感がある」と感じている。

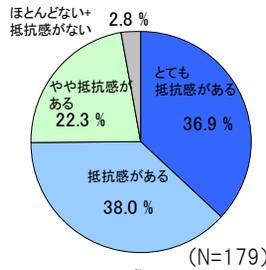
電車の中である程度以上メークをしたことがある人（「とてもよくある+よくある+たまにある」）では「とても抵抗感がある」が18%と抵抗感が弱まっているが、「抵抗感がある」「やや抵抗感がある」をあわせると、8割程度の人に、抵抗感をもちつつも、メークをしてしまうという、自身の意思に反した行動がみられる。

■ 電車の中でのメーク頻度別にみる電車内メークへの抵抗感

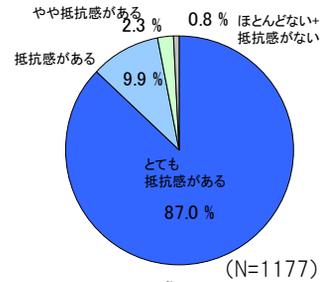
「とてもよくある+よくある+たまにある」人の電車内メークへの抵抗感



「ほとんどないがしたことはある」人の電車内メークへの抵抗感



「全くしたことがない」人の電車内メークへの抵抗感



■ 電車の中でのメーク頻度 (基数:メーク経験者 1453人)

		(N)	とてもよくある+ よくある+たまにある	ほとんどないが したことはある	全くしたことがない	ある計
全体		(1453)	6.6	12.3	81.0	19.0
年代別	15~19歳	(123)	13.0	15.4	71.5	28.5
	20~24歳	(147)	12.3	21.8	66.0	34.0
	25~29歳	(148)	15.5	27.0	57.4	42.6
	30~34歳	(146)	4.8	23.3	71.9	28.1
	35~39歳	(147)	5.5	16.3	78.2	21.8
	40~44歳	(149)	5.4	4.7	89.9	10.1
	45~49歳	(150)	5.3	2.7	92.0	8.0
	50~54歳	(149)	2.7	4.0	93.3	6.7
	55~59歳	(146)	1.4	4.8	93.8	6.2
	60~64歳	(148)	2.0	4.1	93.9	6.1

(%)

※表の網掛け: 全体平均より10%以上高いスコアに薄黄色(■)、10%以上低いスコアに灰色(■)で網かけ

※ここでは、化粧直しを除いたメークとして質問した

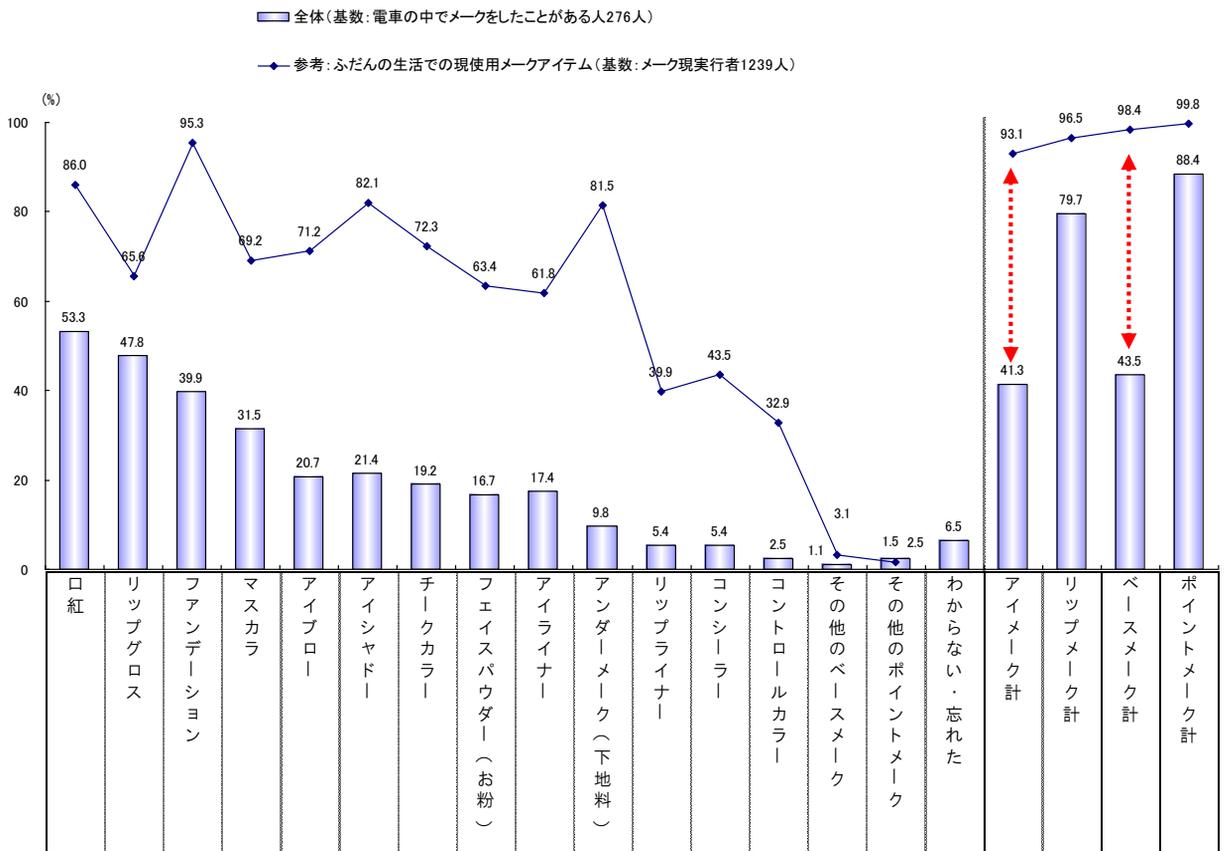
電車の中で使用したことのあるメークアイテム

4) 電車の中で使用したことのあるメークアイテム

電車の中でメークをしたことがある人に、使用メークアイテムをたずねたところ、「口紅」が53%でトップ、同じリップアイテムである「リップグロス」が48%と続いた。「アイシャドー」「アイブロー」などのアイメークよりリップメークの使用率が高く、さらにポイントメークはベースメークより使用率が高くなっている

ふだんの生活での現使用アイテムでは、アイメークはリップメークと、ベースメークはポイントメークと同水準の使用率であることを鑑みると、“電車乗車以前にベースメーク(またはアイメーク)は行っており、ポイントメークを乗車中に行っている”“外出先でも手軽に使用できるアイテム(ここではリップアイテム)を電車内で使用”などの状況が推測される。

■ 電車の中で使用したメークアップアイテム(化粧直し除く) (基数: 電車の中でメークをしたことがある人 276人)



※アイメーク計は「アイシャドー」「アイブロー」「アイライナー」「マスカラ」のうち、いずれかひとつ以上使用の場合を指す
リップメーク計は「口紅」「リップグロス」「リップライナー」のうち、いずれかひとつ以上使用の場合を指す

※ベースメーク計は「アンダーメーク」「コントロールカラー」「コンシーラー」「ファンデーション」「その他のベースメーク」のうち、いずれかひとつ以上使用の場合を指す

ポイントメーク計は「アイシャドー」「アイブロー」「アイライナー」「マスカラ」「チークカラー」「フェイスパウダー」「リップライナー」「口紅」「リップグロス」「その他のポイントメーク」のうちいずれかひとつ以上使用の場合を指す

※ここでは、化粧直しを除いたメークとして質問した

Ⅲ 調査結果【詳細】

1 ノーメークでいることの抵抗感 ～自身がノーメークでいることへの抵抗感

◆ 自分自身がふだんの生活でノーメークでいることについての抵抗感をみると、「とても抵抗感がある」人が9%、「抵抗感がある」とする人を加えると19%に達する状況。

・年代別では、大きな傾向はみられないものの、10代後半では、「ほとんど抵抗感がない+抵抗感がない」人が過半数となり、他年代より多い。

■ふだんの生活でノーメークでいることの抵抗感(基数:メーク経験者 1453人)

		抵抗あり計			抵抗なし計		抵抗あり計	抵抗なし計	
		とても抵抗感がある	抵抗感がある	やや抵抗感がある	ほとんど抵抗感がない	抵抗感がない			
		(N)							
全体		(1453)	9.1	19.1	32.1	25.7	14.1	28.1	39.8
年代別	15～19歳	(123)	5.7	14.6	28.5	31.7	19.5	20.3	51.2
	20～24歳	(147)	6.8	19.7	33.3	27.9	12.2	26.5	40.1
	25～29歳	(148)	8.8	23.6	32.4	23.6	11.5	32.4	35.1
	30～34歳	(146)	5.5	19.2	32.9	26.0	16.4	24.7	42.5
	35～39歳	(147)	11.6	17.7	33.3	25.9	11.6	29.3	37.4
	40～44歳	(149)	10.1	16.8	28.2	27.5	17.4	26.8	45.0
	45～49歳	(150)	6.7	14.0	40.7	25.3	13.3	20.7	38.7
	50～54歳	(149)	13.4	20.1	28.2	25.5	12.8	33.6	38.3
	55～59歳	(146)	11.0	21.9	30.8	23.3	13.0	32.9	36.3
	60～64歳	(148)	10.8	22.3	31.8	20.9	14.2	33.1	35.1

(%)

※表の網掛け:n=30以上の場合、全体より10%以上のスコアに薄黄色(■)、10%以下のスコアに灰色(■)で網かけ

■参考:ふだんの生活のメーク頻度別にみるノーメークの抵抗感

自分自身がノーメークでいることについての抵抗感を、ふだんの生活でのメーク頻度別にみると、メーク頻度が高い人ほど抵抗感がある人が多く、メーク頻度が低い人ほど抵抗感がない人が多い状況。

■参考 ふだんの生活でノーメークでいることの抵抗感(基数:対象者全員 1500人)

		(N)					抵抗あり計	抵抗なし計	
		とても抵抗感がある	抵抗感がある	やや抵抗感がある	ほとんど抵抗感がない	抵抗感がない			
全体		(1500)	8.8	18.5	31.2	25.3	16.2	27.3	41.5
ふの だ メ ん の ク 生 活 活 度	毎日	(343)	29.7	35.0	26.8	5.5	2.9	64.7	8.5
	ほぼ毎日	(577)	4.9	24.6	46.6	19.6	4.3	29.5	23.9
	ときどき	(319)	0.3	4.4	30.1	49.5	15.7	4.7	65.2
	行っていない	(261)	0.4	4.2	34.1	60.5		1.1	94.6

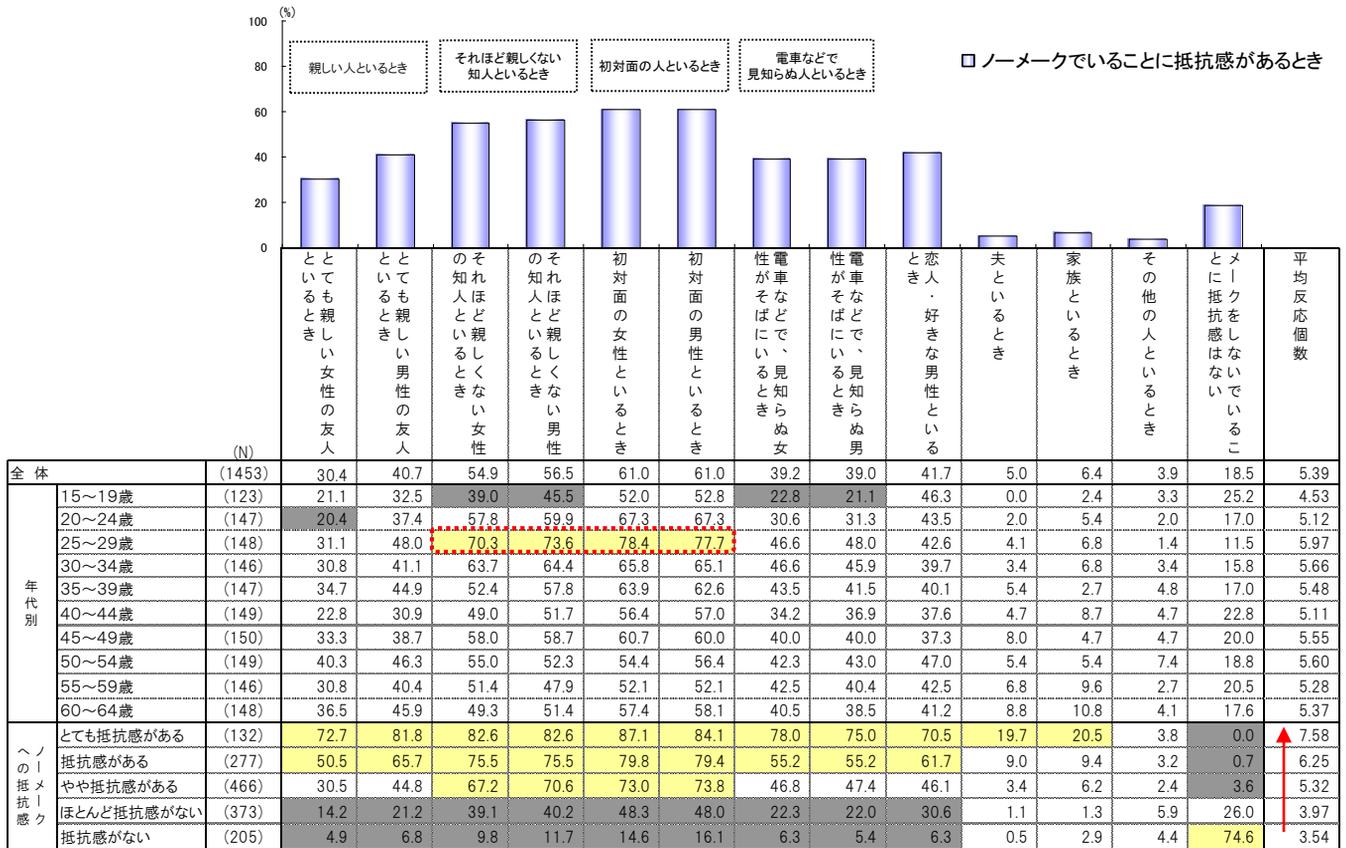
(%)

1 ノーマークでいることへの抵抗感 ～一緒にいる相手別の抵抗感

◆ ふだんの生活の中でノーマークでいることへの抵抗感をみると、相手の性別を問わず「初対面の人」「それほど親しくない知人」といるときに抵抗を感じる人が多く、全体では過半数に達する。

- ・年代別では、20代後半で「初対面の人」「それほど親しくない知人」といるときのノーマークでいることへの抵抗感が特に多く、7割以上に達する。一方、10代後半では「それほど親しくない知人」「電車などで、見知らぬ人」といるときの抵抗感が少ない。
- ・「とても親しい男性の友人」といるときにノーマークでいることへの抵抗感は40%、「とても親しい女性の友人」の場合は30%であり、とても親しい間柄の場合、女性より男性に対して、素顔をみせることに抵抗感を抱いている。また、ノーマークでいることへの抵抗感は「恋人・好きな男性」といるときも4割を超えるが、「夫」「家族」といるときは5%にとどまる。家庭の内と外でのメーク意識の差があらわれている。
- ・自分自身がノーマークでいることへの抵抗感別にみると、その抵抗感が強い人ほど、どのような相手といるときでも、ノーマークでいることに抵抗感を抱いているといえる。

■ふだんの生活でノーマークでいることに抵抗感があるとき ※一緒にいる相手別(基数:メーク経験者1453人)



※表の網掛け:n=30以上の場合、全体より10%以上のスコアに薄黄色(■)、10%以下のスコアに灰色(■)で網かけ

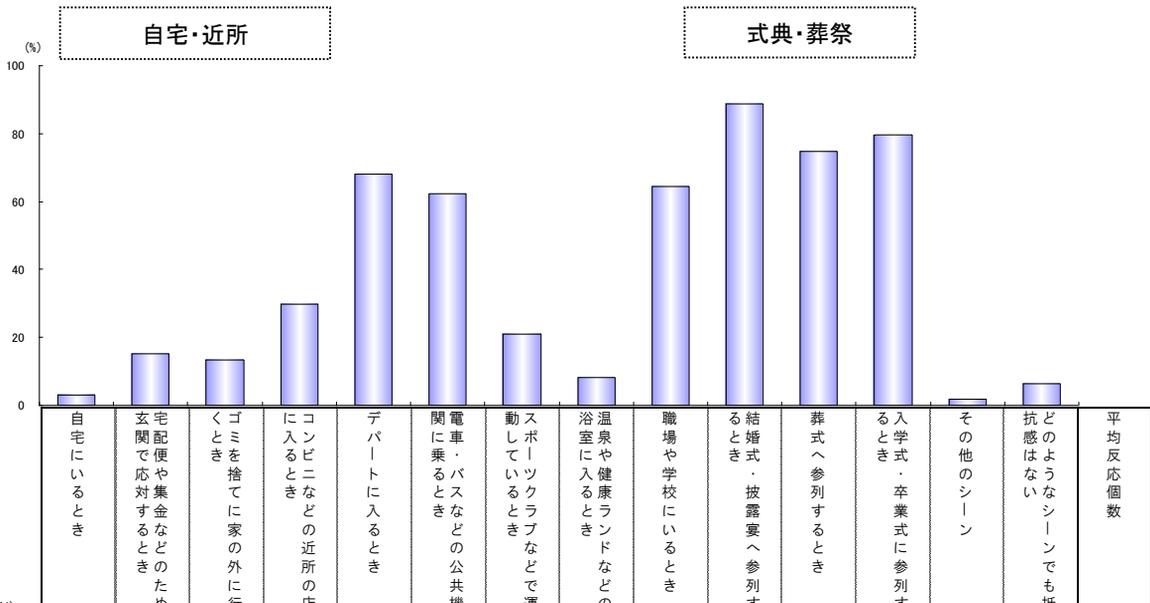
※表側の「ノーマークへの抵抗感」は、自分自身がふだんの生活でノーマークでいること自体への抵抗感を指す

1 ノーマークでいることへの抵抗感 ~シーン別の抵抗感

◆ ノーマークでいることに抵抗感があるシーンをみると、「結婚式・披露宴」「葬式」「入学式」といった式典・葬祭において7割以上が抵抗感を抱いている。一方、「自宅」「玄関で応対」「ゴミ捨て」「近所の店」といった自宅近所では、抵抗感は3割以下と少なく、素颜が中心となる生活範囲とうかがえる。

- ・年代別でみると、10代後半では全シーンにおいて抵抗感が他年代層より少ない。
- ・自分自身がノーマークでいることへの抵抗感別にみると、抵抗感が強い人ほど、どのようなシーンでもノーマークでいることに抵抗感を抱いているものの、「結婚式・披露宴」の場合は、「抵抗感がない」でも6割以上、それ以外の層では9割以上の高い抵抗感となっている。結婚式・披露宴というハレのシーンには、メークをするという意識が広く浸透しているとうかがえる。

■ ノーマークでいることに抵抗感があるシーン(基数:メーク経験者 1453人)



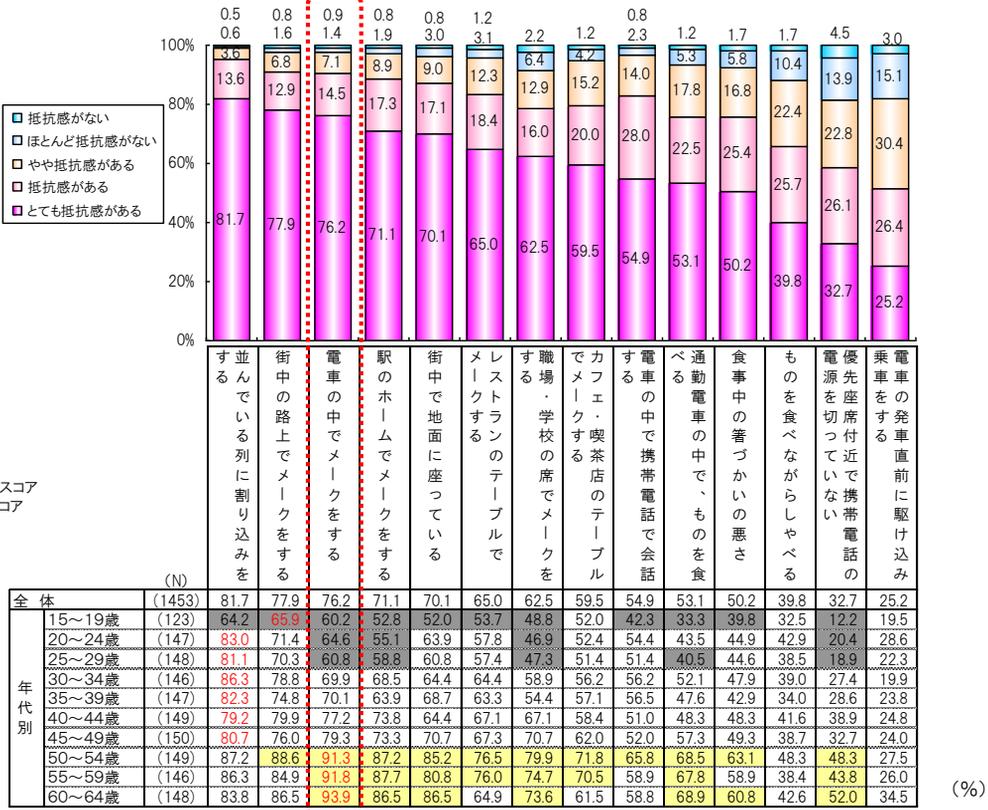
		自宅・近所													式典・葬祭				平均反応個数
		自宅に いるとき	玄関で 応対する とき	ゴミを 捨てる とき	近所の 店に入る とき	コンビニ などの 近所の 店に入る とき	デパート に入る とき	電車・バス などの 公共機 関に乗 るとき	スポーツ クラブ などで 運動 する とき	浴室や 健康ラ ンドな どの に入る とき	職場や 学校に いる とき	結婚 式・披 露宴へ 参列 する とき	葬式へ 参列 する とき	入学 式・卒 業式に 参列 する とき	その 他の シー ン	どの よう な シー ン でも 抵 抗 感 が な い			
(N)																			
全体	(1453)	2.9	15.1	13.5	29.9	68.1	62.4	21.1	8.2	64.5	88.9	74.9	79.6	1.7	6.5	5.67			
年代別	15~19歳	(123)	1.6	9.8	6.5	15.4	46.3	39.0	12.2	9.8	50.4	66.7	46.3	52.8	2.4	20.3	4.51		
	20~24歳	(147)	1.4	8.8	7.5	19.7	68.0	51.7	15.0	5.4	61.2	90.5	70.1	78.2	1.4	4.1	4.99		
	25~29歳	(148)	0.0	7.4	5.4	21.6	77.7	68.9	16.2	7.4	69.6	94.6	80.4	89.2	2.0	3.4	5.59		
	30~34歳	(146)	1.4	9.6	11.0	28.8	68.5	63.0	20.5	3.4	68.5	89.7	76.7	83.6	2.1	5.5	5.57		
	35~39歳	(147)	2.7	17.0	16.3	32.0	72.8	66.0	23.8	9.5	67.3	91.8	77.6	81.6	2.7	3.4	5.81		
	40~44歳	(149)	2.0	18.8	16.8	28.9	65.8	58.4	19.5	5.4	68.5	87.2	76.5	77.9	0.7	8.7	5.76		
	45~49歳	(150)	3.3	14.7	13.3	27.3	66.0	63.3	21.3	8.7	67.3	90.0	79.3	85.3	1.3	6.0	5.76		
	50~54歳	(149)	5.4	20.1	16.1	39.6	71.1	67.1	29.5	12.8	66.4	91.3	79.2	78.5	1.3	4.7	6.07		
55~59歳	(146)	6.8	19.2	19.9	39.7	70.5	71.9	28.8	12.3	63.0	92.5	80.8	84.2	2.1	4.8	6.22			
60~64歳	(148)	4.1	25.0	20.9	43.2	70.3	70.3	22.3	7.4	60.1	90.5	77.0	80.4	0.7	6.1	6.09			
ノーマーク の抵抗感	とても抵抗感がある	(132)	20.5	61.4	59.1	81.1	94.7	92.4	60.6	32.6	88.6	93.2	90.2	93.9	1.5	0.0	8.70		
	抵抗感がある	(277)	2.2	25.6	24.5	57.0	91.7	89.5	41.2	15.5	84.8	95.7	92.1	93.1	0.7	0.0	7.14		
	やや抵抗感がある	(466)	1.7	13.7	10.1	31.3	81.8	77.9	19.3	5.2	77.5	93.3	82.6	86.9	0.6	0.4	5.84		
	ほとんど抵抗感がない	(373)	0.0	0.8	0.5	5.1	53.1	39.4	4.6	1.6	48.8	90.1	67.3	74.0	3.2	7.0	4.18		
抵抗感がない	(205)	0.5	0.5	0.5	2.0	15.1	12.7	2.4	1.5	20.5	64.4	38.0	45.9	2.4	32.2	3.04			

※表の網掛け:n=30以上の場合、全体より10%以上のスコアに薄黄色(■)、10%以下のスコアに灰色(■)で網かけ

2 人前での行動・電車の中でメークをすることへの抵抗感

◆ 下図内の14項目の人前での行動についての抵抗感をたずねたところ、トップは「並んでる列に割り込み」、以下「路上でメーク」「電車の中でメーク」と続く。
各項目の「とても抵抗感がある」と感じている年代をみると、50代以上の層でとても抵抗感がある人が多く、10代後半を中心とする若年層では少なくなっている。

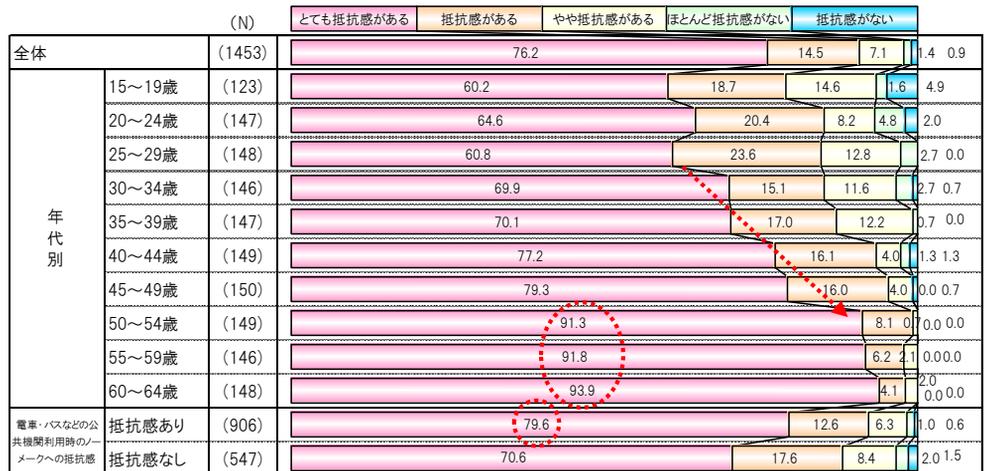
■人前での行動への抵抗感(基数:メーク経験者 1453人)



◆電車の中でメークすることへの抵抗感をみると、とても抵抗感を感じる人が76%と大多数。

- ・年代別にとても抵抗感を感じる人の割合をみると、20代以下では6割程度にとどまるものの、30代以上は年代があがるほど多くなり、50代以上では9割以上に達しており、年代による意識の差がみられる。
- ・電車・バスなどの公共機関に乗るとき、自分自身がノーメークでいることに抵抗感がない人よりある人の方が、電車の中でメークをすることへ「とても抵抗感がある」人の割合が多い。

■電車の中でメークをすることへの抵抗感 (基数:メーク経験者 1453人)

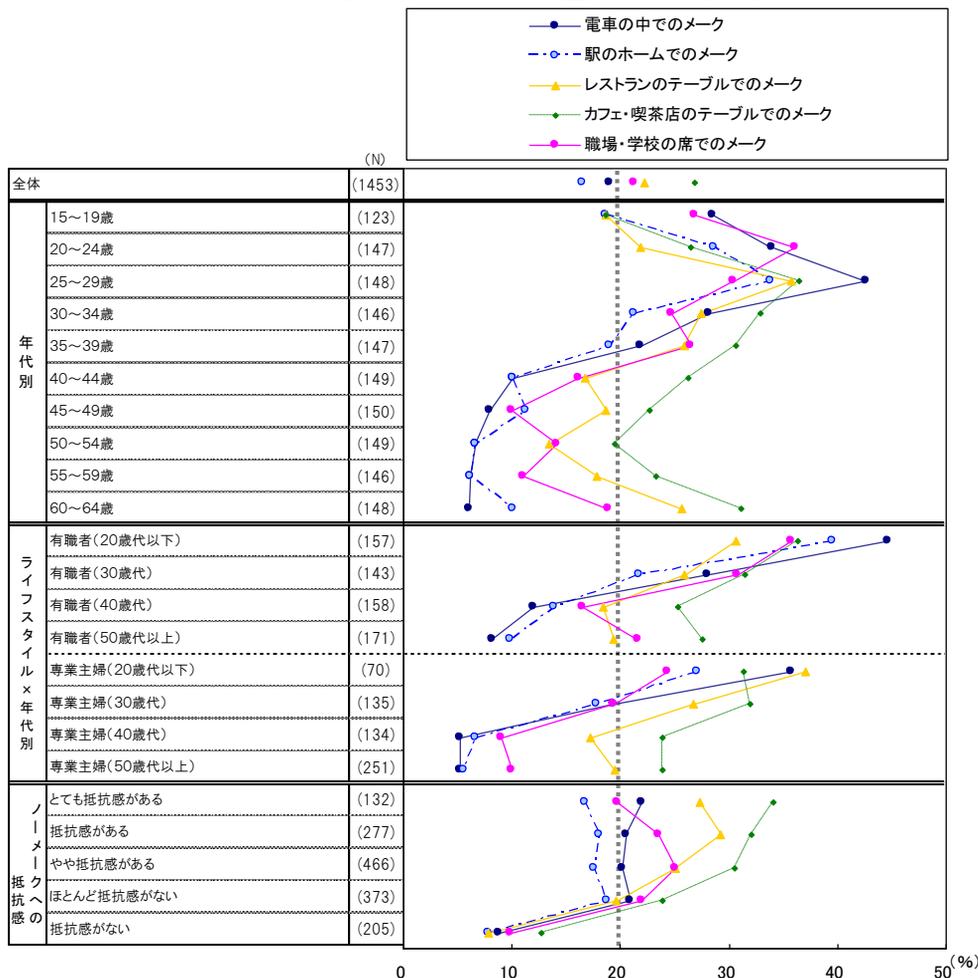


※表の網掛け:n=30以上の場合、全体より10%以上のスコアに薄黄色(■)、10%以下のスコアに灰色(■)で網かけ

◆「カフェ・喫茶店のテーブル」「レストランのテーブル」「職場・学校の席」「電車の中」「駅のホーム」の場所別に、人前でのメイク経験(※化粧直しを除くメイク)をたずねたところ、最も経験者が多かったのは「カフェ・喫茶店のテーブル」27%。「電車の中」は19%であった。

- ・年代別にみると、いずれの場所においても30歳前後の経験者が他年代層に比べて多い。特に20代後半での経験者が多く、いずれの場所でも経験者は3割以上にのぼる。
- ・ノーメイクへの抵抗感別にみると、ノーメイクでいることに抵抗感がない人は、いずれの場所においても人前でのメイク経験も少ない。

■人前でのメイク経験がある人の割合 ※化粧直しを除くメイク (基数:メイク経験者 1453人)



■人前でのメイク経験がある人の割合 ※化粧直しを除くメイク 数表 (基数:メイク経験者 1453人)

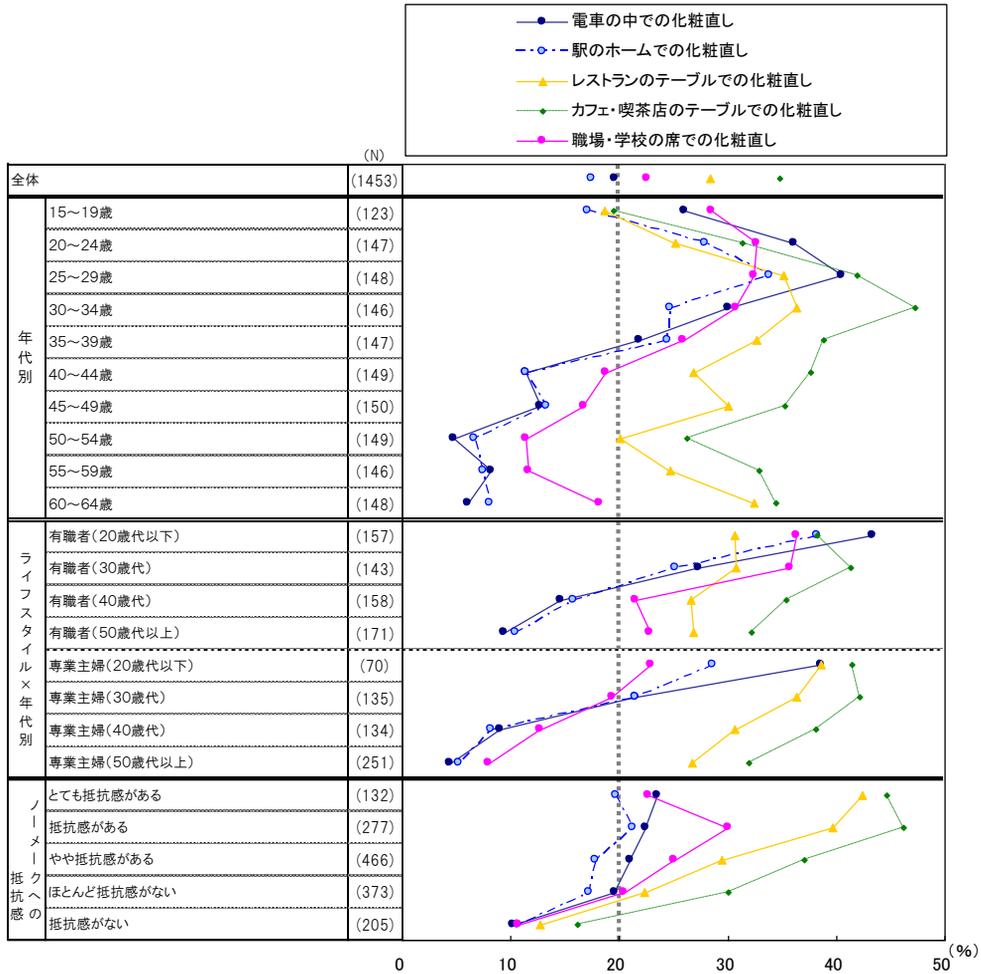
(N)		電車の中でのメイク	駅のホームでのメイク	レストランのテーブルでのメイク	カフェ・喫茶店のテーブルでのメイク	職場・学校の席でのメイク	
全体	(1453)	19.0	16.5	22.2	26.9	21.3	
年代別	15～19歳	(123)	28.5	18.7	18.7	18.7	26.8
	20～24歳	(147)	34.0	28.6	21.8	26.5	36.1
	25～29歳	(148)	42.6	33.8	35.8	36.5	30.4
	30～34歳	(146)	28.1	21.2	27.4	32.9	24.7
	35～39歳	(147)	21.8	19.0	25.9	30.6	26.5
	40～44歳	(149)	10.1	10.1	16.8	26.2	16.1
	45～49歳	(150)	8.0	11.3	18.7	22.7	10.0
	50～54歳	(149)	6.7	6.7	13.4	19.5	14.1
55～59歳	(146)	6.2	6.2	17.8	23.3	11.0	
60～64歳	(148)	6.1	10.1	25.7	31.1	18.9	

※表の網掛け:20%以上のスコアに水色(■)、30%以上のスコアに青色(■)で網かけ

◆「喫茶店のテーブル」「レストランのテーブル」「職場・学校の席」「電車の中」「駅のホーム」の場所別に、人前での化粧直しの経験をたずねたところ、最も経験者が多かったのは「カフェ・喫茶店のテーブル」の34%。

- ・年代別にみると、いずれの場所においても30歳前後の経験者が他年代層に比べて多い。
- ・ノーマークへの抵抗感別にみると、ノーマークでいることに抵抗感がない人は、いずれの場所においても人前でのメイク経験も少ない。また、「カフェ・喫茶店のテーブル」「レストランのテーブル」での化粧直し経験は、ノーマークに抵抗感を感じる人ほど多くなっている。

■人前での化粧直し経験がある人の割合（基数：メイク経験者 1453人）



■人前での化粧直し経験がある人の割合 数表
(基数：メイク経験者 1453人)

(N)		電車の中での	駅のホームで	レストランの	カフェ・喫茶店の	職場・学校の
全体	(1453)	19.6	17.5	28.4	34.8	22.6
年代別	15～19歳 (123)	26.0	17.1	18.7	19.5	28.5
	20～24歳 (147)	36.1	27.9	25.2	31.3	32.7
	25～29歳 (148)	40.5	33.8	35.1	41.9	32.4
	30～34歳 (146)	30.1	24.7	36.3	47.3	30.8
	35～39歳 (147)	21.8	24.5	32.7	38.8	25.9
	40～44歳 (149)	11.4	11.4	26.8	37.6	18.8
	45～49歳 (150)	12.7	13.3	30.0	35.3	16.7
	50～54歳 (149)	4.7	6.7	20.1	26.2	11.4
	55～59歳 (146)	8.2	7.5	24.7	32.9	11.6
60～64歳 (148)	6.1	8.1	32.4	34.5	18.2	

※表の網掛け：20%以上のスコアに水色(■)、30%以上のスコアに青色(■)で網かけ

4 電車の中でのメイク経験 ~化粧直しを除くメイク

◆ 電車の中でメイク(※化粧直しを除くメイク)を実際に行った状況を見ると「全くしたことがない」81%、「ほとんどないがしたことはある」12%、「とてもよくある～たまにある」7%であり、メイク経験者は19%の状況。

- ・年代別にみると20代後半でのメイク経験者が43%と最も多いが、40代後半以上では1割以下。「とてもよくある～たまにある」人は20代以下で1割を超えるが、30代以上では約5%以下にとどまり、30歳を境に少なくなっている。
- ・電車・バスなどの公共機関利用時にノーメイクでいることに抵抗を感じる人と感じない人での差はほとんどみられない。
- ・電車の中でメイクをすることへの抵抗感別にみると、抵抗感が弱まるほど、メイクの経験が多くなっている。「抵抗感がある」「やや抵抗感がある」人でもメイク経験は4割以上にのぼり、ある程度の抵抗感をもちつつも、メイクをしてしまう状況が確認できる。

■電車の中でのメイク経験※化粧直しを除くメイク (基数:メイク経験者 1453人)

ある計

		ある計			ある計
(N)		とてもよくある+ よくある+たまにある	ほとんどないが したことはある	全くしたことがない	
全体	(1453)	6.6	12.3	81.0	19.0
年代別	15～19歳	13.0	15.4	71.5	28.5
	20～24歳	12.3	21.8	66.0	34.0
	25～29歳	15.5	27.0	57.4	42.6
	30～34歳	4.8	23.3	71.9	28.1
	35～39歳	5.5	16.3	78.2	21.8
	40～44歳	5.4	4.7	89.9	10.1
	45～49歳	5.3	2.7	92.0	8.0
	50～54歳	2.7	4.0	93.3	6.7
	55～59歳	4.4	4.8	93.8	6.2
	60～64歳	1.0	4.1	93.9	6.1
電車・バスなどの公共機関利用時のノーメイクへの抵抗感	抵抗感あり	6.1	13.2	80.7	19.3
	抵抗感なし	7.7	10.8	81.5	18.5
電車の中でメイクをすることへの抵抗感	とても抵抗感がある	6.0		92.5	7.5
	抵抗感がある	11.9	32.4	55.7	44.3
	やや抵抗感がある		35.0	38.8	26.2
	抵抗感がない・計		57.7	15.2	27.3

(%)

※表の網掛け:n=30以上の場合、全体より10%以上のスコアに薄黄色(■)、10%以下のスコアに灰色(■)で網かけ

■参考:再掲 電車の中でメイクをすることへの抵抗感 (基数:メイク経験者 1453人)

抵抗なし計

		抵抗なし計					とても～やや抵抗感がある	抵抗なし計
(N)		抵抗感がない	ほとんど抵抗感がない	やや抵抗感がある	抵抗感がある	とても抵抗感がある		
全体	(1453)	7.1	14.5		76.2		97.8	2.3
年代別	15～19歳	4.9	14.6	18.7	60.2		93.5	6.5
	20～24歳	4.0	8.2	20.4	64.6		93.2	6.8
	25～29歳	2.7	12.8	23.6	60.8		97.2	2.7
	30～34歳	2.7	11.6	15.1	69.9		96.6	3.4
	35～39歳	2.7	12.2	17.0	70.1		99.3	0.7
	40～44歳	3.3	4.0	16.1	77.2		97.3	2.6
	45～49歳	2.0	16.0		79.3		99.3	0.7
	50～54歳	0.8	8.1		91.3		100.0	0.0
	55～59歳	0.1	6.2		91.8		100.0	0.0
	60～64歳	0.0	4.1		93.9		100.0	0.0

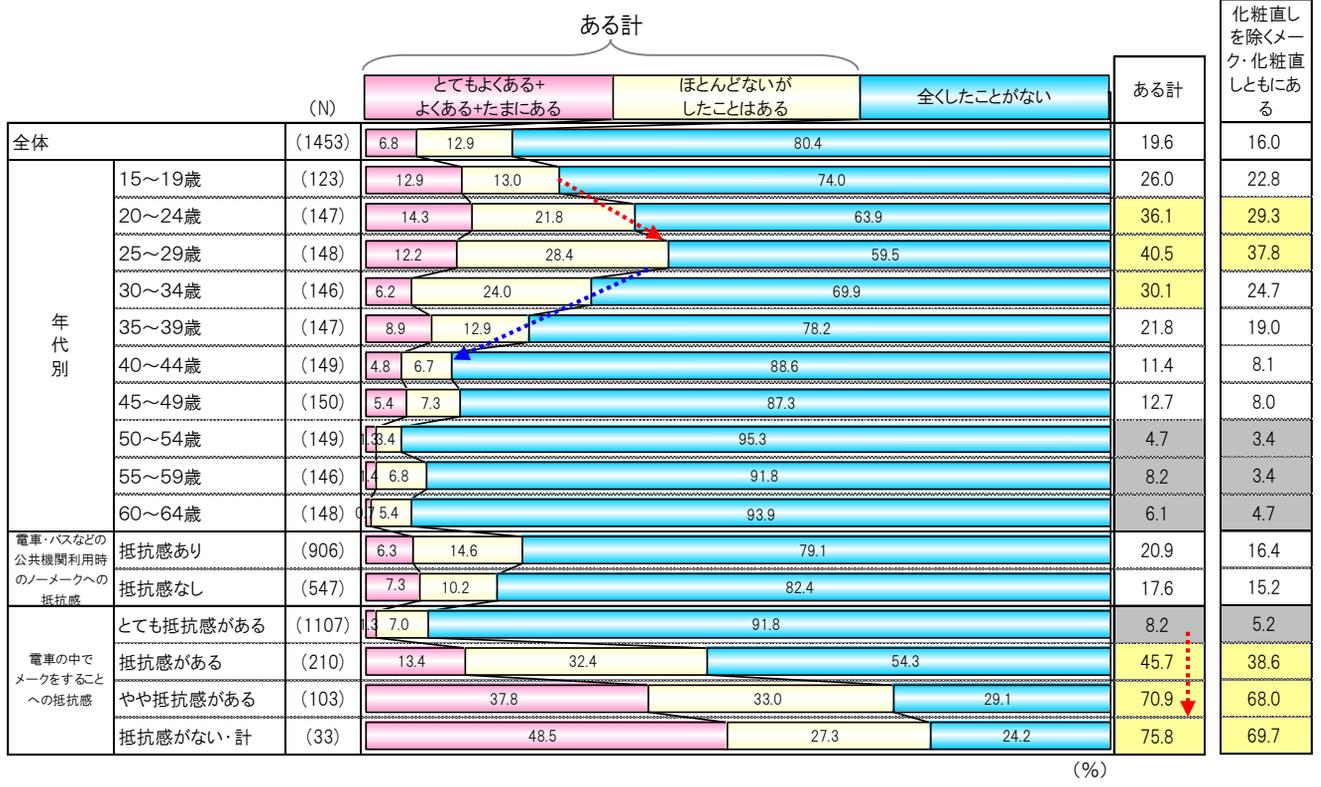
(%)

4 電車の中でのメイク経験 ~化粧直し

◆ 電車の中で化粧直しを行った経験は、「全くしたことがない」80%、「ほとんどないがしたことはある」13%。化粧直し経験のある人のうち多くはメイクの経験もある。

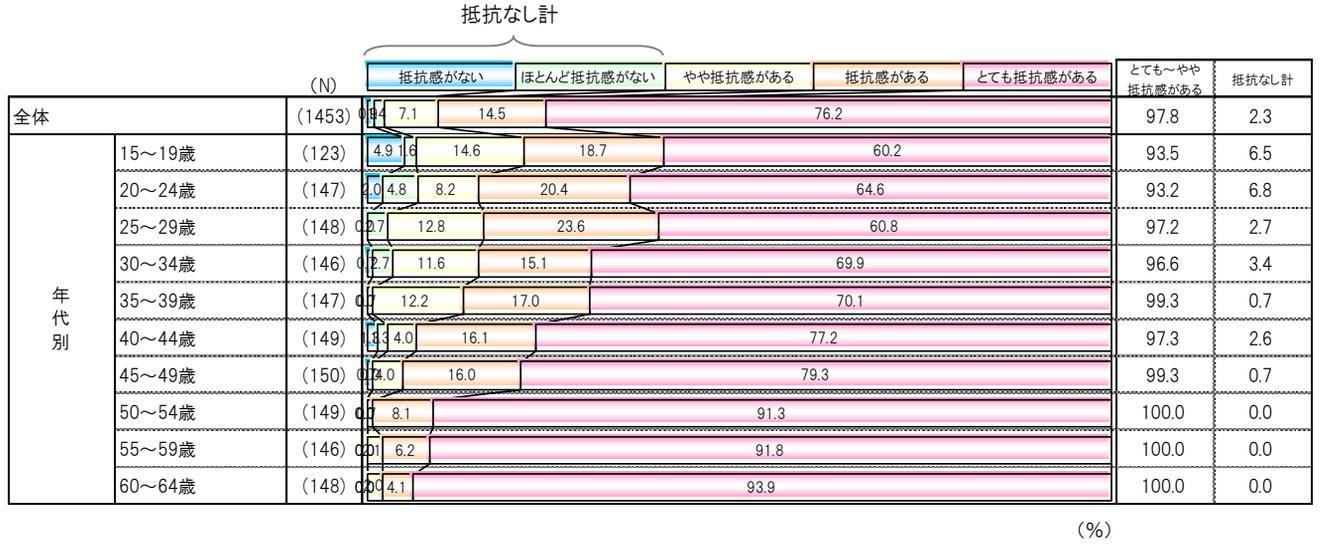
- ・年代別にみると、20代後半での経験率が43%で最も高い。40代以上では約1割以下にとどまる。
- ・電車の中でメイクをすることへの抵抗感別にみると、抵抗感が弱まるほど、メイクの経験が多くなっている。「抵抗感がある」「やや抵抗感がある」人でもメイク経験は4割以上にのぼり、ある程度の抵抗感をもちつつも、化粧直しをしている状況。
- ・電車の中で、化粧直しを除いたメイクも化粧直しをしたことがある人は16%に達する。年代別では20代で約3割と多くなっている。

■電車の中での化粧直し経験（基数：メイク経験者 1453人）



※表の網掛け：n=30以上の場合、全体より10%以上のスコアに薄黄色(■)、10%以下のスコアに灰色(■)で網かけ

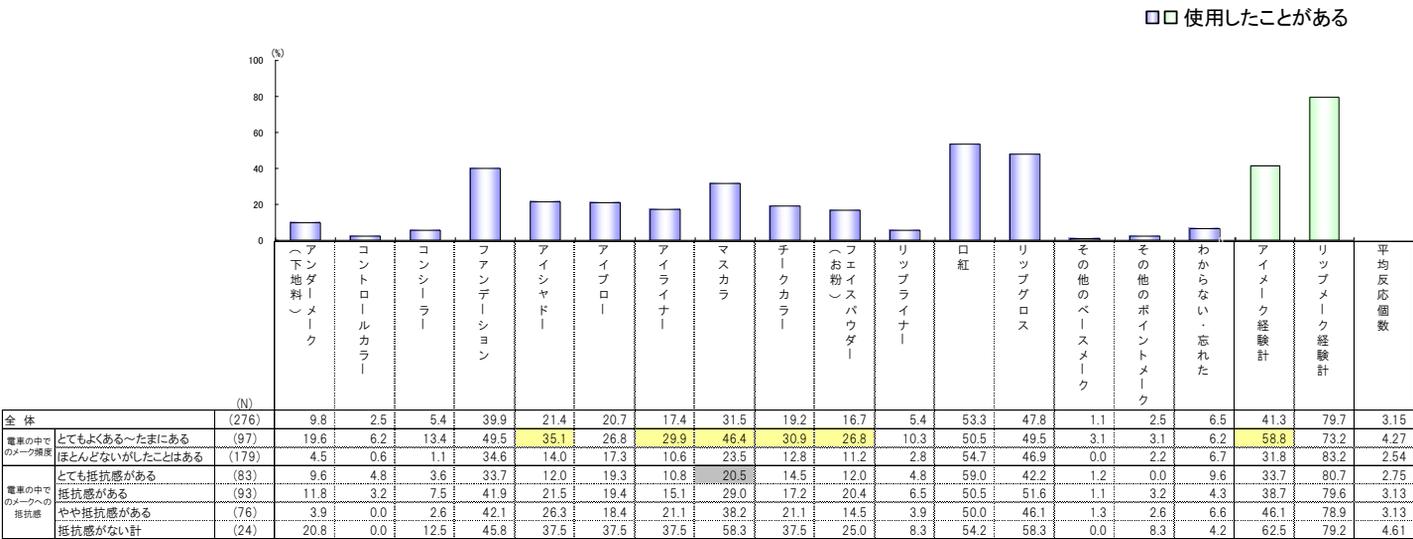
■参考：再掲 電車の中でメイクをすることへの抵抗感（基数：メイク経験者 1453人）



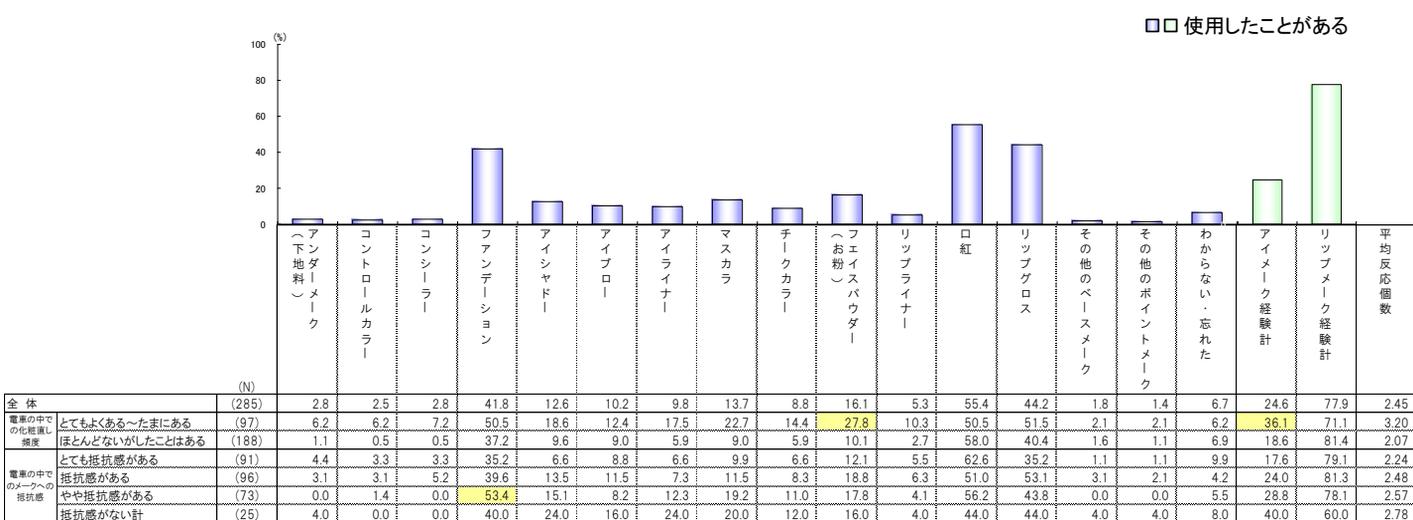
2 電車の中で使用したことのあるメイクアイテム

◆ 電車の中でのメイク・化粧直し経験者に、電車内で使用したメイクアイテムをたずねたところ、化粧直しを除くメイク、化粧直し時ともに「口紅」「リップグロス」の使用率が約半数にのぼった。また、リップメイクはアイメイクより使用率が高くなっている。

■ 電車の中で使用したメイクアイテム※化粧直しを除くメイク（基数：電車の中でメイクをしたことがある人 276人）



■ 電車の中で使用した化粧直しアイテム（基数：電車の中で化粧直しをしたことがある人 285人）



※表の網掛け:n=30以上の場合、全体より10%以上のスコアに薄黄色(■)、10%以下のスコアに灰色(■)で網かけ

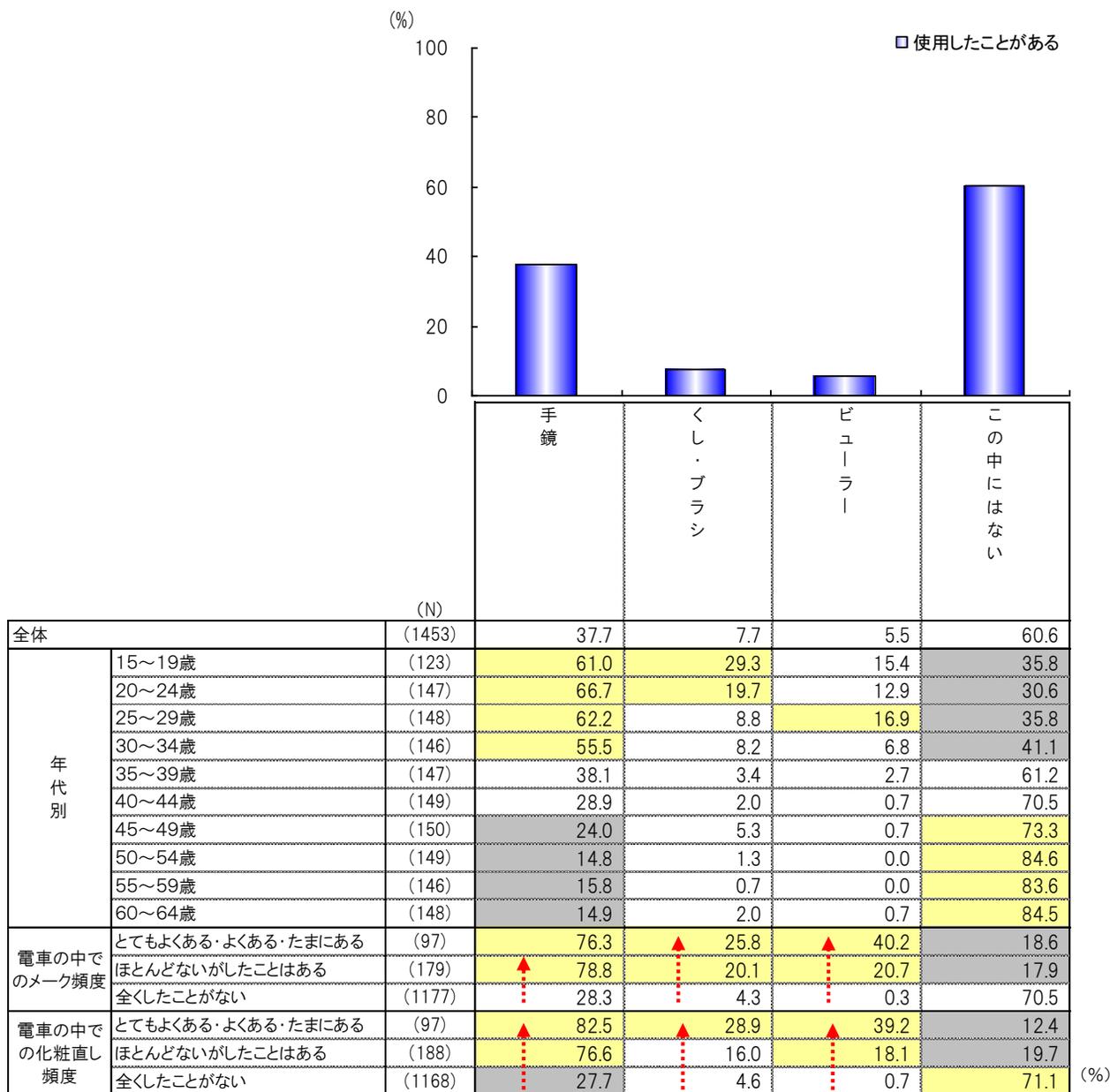
※アイメイク経験計は「アイシャドウ」「アイブロー」「アイライナー」「マスカラ」のうち、いずれかひとつ以上使用の場合を指す
リップメイク経験計は「口紅」「リップグロス」「リップライナー」のうち、いずれかひとつ以上使用の場合を指す

6 電車の中で使用した道具

◆ メイク経験者の電車の中で使用したことのある道具をみると、「手鏡」38%、「くし」8%、「ビューラー」は6%が使用経験がある。

- ・年代別にみると、「手鏡」では20代前半での使用経験が67%と最も多く、50代以上の層では2割を下回り、若年層との差が大きい。
- ・電車の中でメイク(※化粧直しを除くメイク)、化粧直しの頻度が高いほど、「手鏡」「くし」「ビューラー」の使用率も高くなっており、化粧時に装いの道具をともに使っている状況が推測される。電車の中でメイク、化粧直しをしたことがある層(「とてもよくある・よくある・たまにある」「ほとんどないがしたことはある」)では、特に「手鏡」の使用経験が多く7~8割に達する。鏡を見ながらメイクを行う状況がうかがえる。

■電車の中での「手鏡」「くし」「ビューラー」の使用経験 (基数:メイク経験者 1453人)



※表の網掛け:n=30以上の場合、全体より10%以上のスコアに薄黄色(■)、10%以下のスコアに灰色(■)で網かけ
電車の中でのメイク頻度は、化粧直しを除くメイクの頻度